

ふるさとへの文化財散歩

今月は、ふるさとの人々のくらしや歴史の流れを今も見守り続けている二カ所の大木を訪ねてみました。

菅野のカツラの木

市指定天然記念物第三十八号

菅野の集落を過ぎて道志村への途中、旧道志街道に入った所に養蚕神社があります。その森の中に二本のカツラの木があります。カツラの木は、湿った溪谷沿いの地を好み、日本各地に分布する木で、このように二本並んで大木となっているのは珍しく、貴重なものです。今の季節、美しいハート型の葉が黄葉し、見事なものとなっています。

このカツラの木には、弘法大師が道志村から谷村に向う途中、ここで食事をし、箸に使ったカツラの木を一本は逆さに、もう一本は正常に土に差し、「瓢」の水を注ぎながら育つように祈って修行の途につかれたと言われています。



やがて大きく育った二本の木は「水の木」、瓢に汲んだ神社脇の流れは「ふくべの水」と今でもよび伝えられています。

この他、県指定天然記念物として指定されている上野原町綱原の軍刀利神社のカツラの木が有名です。

東側の木

- 樹高 二〇・〇メートル
- 根回り 九・三メートル
- 目通り 一〇・八五メートル

西側の木

- 樹高 二五・五メートル
- 根回り 八・五メートル
- 目通り 九・八メートル

熊野神社の大杉

市指定天然記念物第四十二号

鹿留宮下地区の西方寺脇に市内で一番長いといわれる石段があり、

この石段を登っていくと旧鹿留村の氏神である熊野三社権現に着きます。この神社には、その年の作物の豊凶を占った粥占いの神事がありました。いつの頃からか途絶えています。

桜で有名な鹿留発電所の送水管と参道との間にこの大杉があります。この大杉は熊野三社権現の御神木として代々地域の人たちが大切に守ってきました。また、大杉のかたわらには正徳年間(一七一〇〜一七二五)造立の弁財天を祀った石の祠が寄り添うようにあります。この大杉の下に立って上を見あげるとなぜか心がなごむような気がします。

- 樹高 三五・〇メートル
- 根回り 一一・〇メートル
- 目通り 七・七メートル



ふるさとへ再発見

郷土資料のご案内

ふるさとを理解し、ふるさとを再発見するために郷土資料をご利用ください。

また、年末年始には親戚や友人など都留市をふるさととする方々が帰ってきます。そんな方々への

知的な贈り物としてもご利用になれます。

なお、資料によっては在庫に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

郷土資料名	発行先(販売所)	代金
都留市史第一集 地史・考古編	都留市市史編纂室	三千五百円
同 第二集 都留郡村絵図集	〃	六千円
同 第三集 民家・民俗編	〃	五千五百円
都留市史資料所在目録集 二集、六集	〃	千七百円 千四百五十円
都留自然散歩 いきもの	都留市教育委員会	三百円
目で見る都留市の歴史	〃	千円
都留市 歳時記	〃	千円
都留市の石造物	〃	四百円
都留市 社記	〃	千円
尾県学校の沿革と復元	〃	千円
井上敏雄著 ふるさと小形山	尾県郷土資料館	(実費)千円
都留市郷土研究会刊 郡内研究第二刊、4刊	都留市郷土研究会事務局 小林貞夫 ☎43-6916	(実費)千円 千円、千三百円
窪田 薫著 秋元公拾遺	窪田 薫 ☎43-3876	(実費)五百円
同 甲斐都留郡の中世を探る	〃	(実費)千円
同 統都留郡の中世を探る	〃	(実費)千五百円

ふるさとの祭

12月8日 針供養
22日 冬至
24日 クリスマスイヴ

1月1日 初詣
31日 大晦日法要(除夜の鐘)
4日 消防出初式(谷一小)
都留七福神めぐり